

歴博の利用方法について、  
くわしくはホームページを  
ご覧ください。

<http://www.rekihaku.ac.jp>

歴博トップページ → 大学院教育 → 歴博の活用  
「大学のための歴博利用ガイド」

※大学の教育・研究に関する情報は上記ホームページでご確認いただけます。

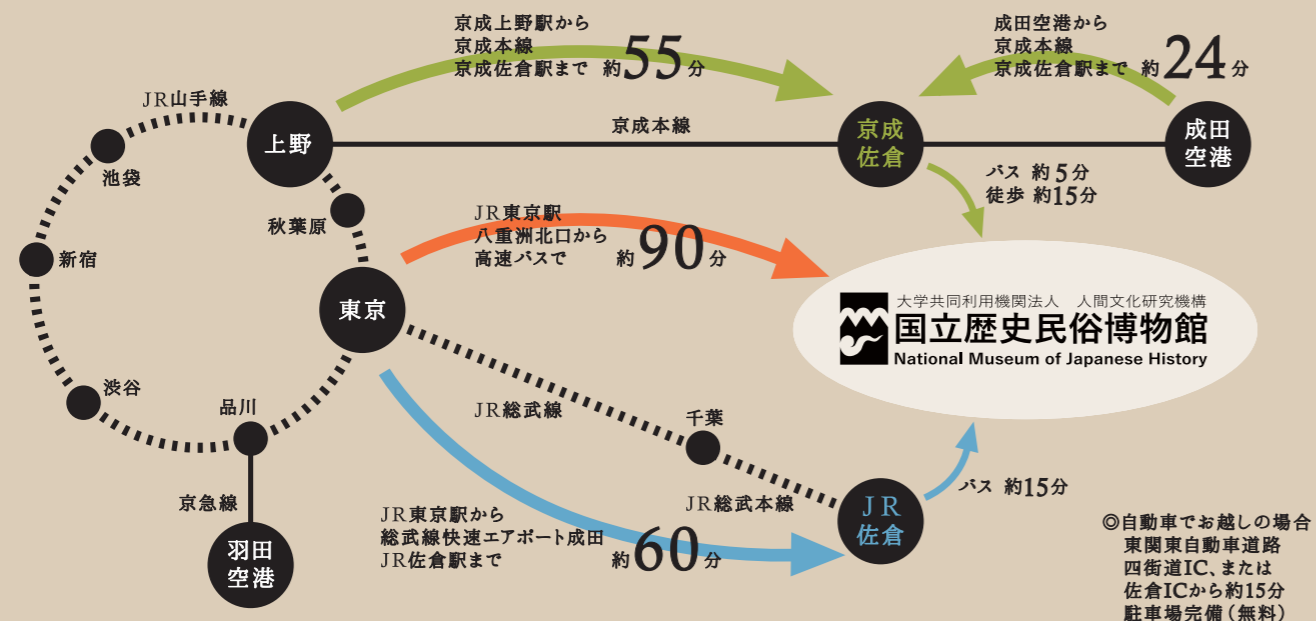
お問い合わせ

お問い合わせは、お電話・メールにて承ります。

- お問い合わせ電話番号 (代表) 043-486-0123 ※お電話はすべて代表電話にお掛けください。
- メールでのお問い合わせは、利用用途別に下記宛にお送りください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示見学</li> <li>・新生ガイダンス・オリエンテーション</li> <li>・歴博フォーラム</li> </ul>	総務課広報サービス室 広報・普及係 sfukyu@ml.rekihaku.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> <li>・館蔵資料に関すること</li> <li>・民俗研究映像の貸出</li> </ul>	博物館事業課 資料係 daityo@ml.rekihaku.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴博国際研究集会</li> </ul>	研究協力課 企画・渉外係 kikaku@ml.rekihaku.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室</li> </ul>	研究協力課 図書係 tosyo@ml.rekihaku.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究、特別共同利用研究員</li> <li>・宿泊施設</li> </ul>	研究協力課 研究教育係 kenkyo@ml.rekihaku.ac.jp

交通アクセス



発行: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 (代) 043-486-0123 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地

大学のための歴博利用ガイド

触れる。考える。語り合う。を見つける。  
あなたを導くのは、国内有数の「知のアーカイブ」

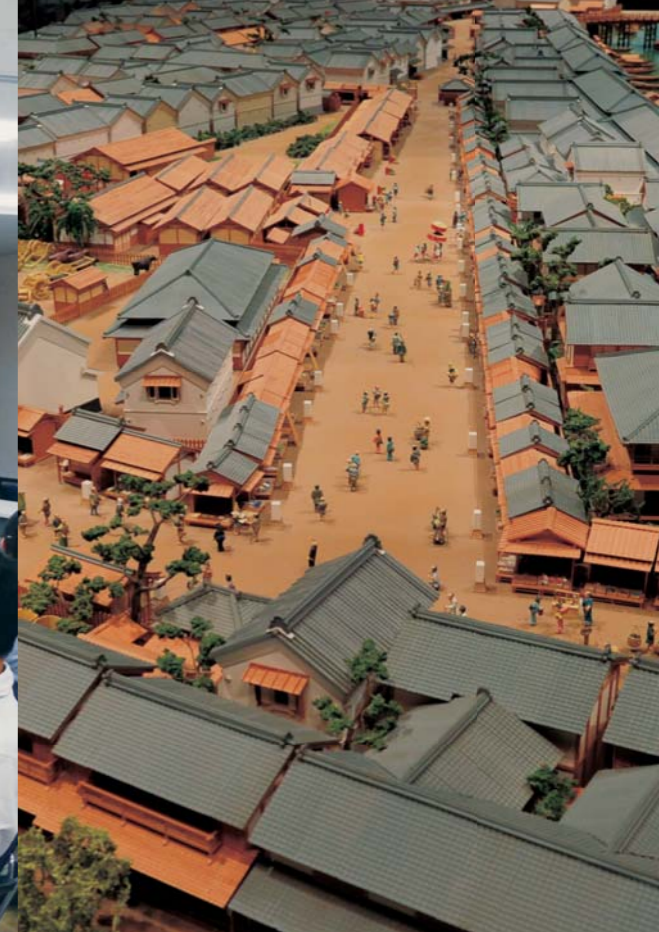
歴博でアクティブ・ラーニング

「歴博」の通称でおなじみの「国立歴史民俗博物館」では、  
その国内有数の歴史資料を大学の教育・研究にさまざまな形でご利用いただけます。  
「歴博」が誇る「知のアーカイブ」を、ぜひご活用ください。

新生オリエンテーションの一環としての展示見学



当館施設を利用した授業風景





歴博の愛称で親しまれる「国立歴史民俗博物館」は、1981(昭和56)年、博物館という形態をもつ大学共同利用機関として設置されました。千葉県佐倉市にある緑豊かな佐倉城址の一角、約13万平方メートルの敷地に、延べ床面積約3万5千平方メートルという壮大な規模を有する「歴博」は、歴史資料・情報の収集、整理、保存、調査研究、そして提供という一連の機能を有することが最大の特色です。館内では、旧石器時代から現代までの日本の歴史と文化について約1万点におよぶ資料を6つの展示室に分け、わかりやすく展示しています。



第2展示室【中世】 御朱印船模型



第4展示室【民俗】 お人形様



第5展示室【近代】 浅草の街並み復元

大学向け無料サービス

- 大学の授業で利用される場合は入館料が無料となります。(要事前連絡・申請書提出)
- 留学生の方には展示室の音声ガイド(英・中・韓)を無料で貸し出しいたします。

# こんなにあります。「歴博」で、できること。

授業や研究で利用する



授業の一環としての展示見学

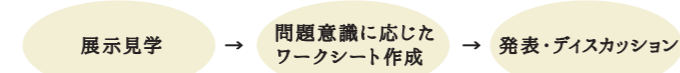


当館施設を利用したグループ発表

CASE.1

展示見学を取り入れたアクティブ・ラーニングなどの授業・ゼミでご利用いただけます。

【授業例】



ガイダンスルーム



講堂

CASE.2

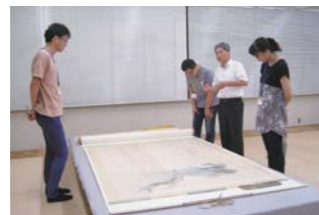
新入生ガイダンスやオリエンテーションなどでご利用いただけます。

【施設概要】

1. ガイダンスルーム(90名収容)
  2. 講堂(280名収容)
- その他、敷地内休憩所(260名収容)は昼食場所としてもご利用いただけます。



館蔵資料を用いた調査風景



CASE.3

教員や院生の研究資料として、館蔵資料(約25万件)をご利用いただけます。(要事前連絡・申請書提出)  
ご利用の際は、所定の手続きがございますので、くわしくはご相談ください。また、敷地内には宿泊施設も併設しており、ご利用いただけます。

当館利用大学等の声

「歴博ならではの大規模な復元模型や、体験学習やハンズオンのあるコーナーが好評でした。学芸員資格取得を目指す学生ですが、これらの効果を体感し、展示を企画することへの関心、理解度がより深まったようです。」(職員)

「本物の展示、精巧で大規模な模型に圧倒されていました。夢中になっていると迷子になりそうなほどの広い館内、部屋ごとに変化に富んだ空間、それぞれの学生が自分のお気に入りの宝探しをしているようでした。」(教員)

「歴博見学は毎年大好評の新入生研修プログラムです。学生たちは、王朝貴族の服装や城内の復元、鎌倉の地形と建造物、近世の旅籠や日本橋付近の復元模型、お節料理、妖怪等に興味を持ち、おまじないを覚えていました。」(教員)

※その他大学等の声につきましては、当館ホームページ「大学・大学院授業での活用方法」をご覧ください。  
[https://www.rekihaku.ac.jp/education\\_research/education/utilization/practice.html](https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/education/utilization/practice.html)

データベース・WEBギャラリーを利用する



- 館蔵野村正治郎衣裳コレクションや館蔵縄文時代遺物などのデータベース53件をホームページ上で公開中。
- WEBギャラリーでは館蔵資料をホームページから高精細画像にてご覧いただけます。

民俗研究映像を利用する

- 当館が制作した民俗研究映像(DVD)の一部は研究・教育機関を対象に貸し出しを行っています。
- 講義やゼミに民俗研究映像を使うことで普段の授業にアクセントを。

【映像作品例】  
「盆行事とその地域差」  
「平成の酒造り 製造編/継承・革新編」  
「比婆荒神神楽-地域と信仰-」他



歴博国際研究集会や歴博フォーラムに参加する



- 研究成果を広く社会に公開する目的で歴博国際研究集会や歴博フォーラムを随時開催しています。

【歴博国際研究集会・歴博フォーラム例】  
歴博国際研究集会  
「歴史展示におけるジェンダーを問う」  
歴博フォーラム  
「URUSHIふしぎ物語 -人と漆の12000年史」、他

図書室を利用する

- 入館者用図書室の他、研究用図書室(閉架式)の図書を開覧いただけます。(要事前連絡)
- 大学図書館との、図書館間相互貸借サービスをご利用いただけます。

【所蔵図書】  
全国の発掘調査報告書・民俗調査報告書・自治体史・展示図録、展示関連図書、専門書等、約34万冊を所蔵



## もっともっと、「歴博」を活用したい! というかたのために。

研究者向け	「共同研究」に応募して、共同研究を立ち上げる	共同研究には、基幹研究、基盤研究1(課題公募型)及び基盤研究2(館蔵資料型)という3つのカテゴリーがあります。いずれも研究期間は3年です。代表者として共同研究を立ち上げ、実証的、学際的研究を行うものです。詳細はHPの公募要項をご覧ください。
若手研究者向け	「共同利用型共同研究」に応募して、館蔵資料や分析機器を利用した研究を行う	若手研究者(博士課程後期に在籍する大学院生及びポストドクターを含む)を対象に新しく設けた共同研究で、研究期間は1年です。館蔵資料利用型と分析機器・設備利用型とがあります。基本的に、応募者と当館教員との2人で行う共同研究で、年度末に成果発表会を行います。
大学院生向け	「特別共同利用研究員」に応募して、研究指導を受ける	当館では、国公立大学の要請に応じ、大学院における教育研究に協力するため、博士課程または修士課程に在籍する大学院生で、日本の歴史と文化に関連する分野の専攻者を「特別共同利用研究員」として受け入れ、必要な研究指導を行っています。